

(報道資料)

2020年6月9日
NHK広報局

川口施設（仮称）の基本計画について

NHKがさいたま新産業拠点SKIPシティ（埼玉県川口市）に整備する川口施設（仮称）について、基本計画がまとまりました。概要は次の通りです。

- テレビ番組を制作する大型スタジオを恒久的な施設として4つ整備します。
- 4つのスタジオは、いずれも4K収録に対応した施設として整備し、ドラマ番組や音楽番組など多彩な番組を制作します。
- あわせて、番組制作の編集室や効果音の収録室、美術倉庫などを整備します。

これにより、東京・渋谷の放送センター建替にともない2027年ごろから既存の大型スタジオが解体される際に、事業継続のために必要な代替機能を確保することが可能になります。

また、NHKの放送機能の地域への展開という役割も担います。

川口施設の整備については、川口市、埼玉県が所有する土地と、NHKが所有する土地との交換によって用地を取得することを、三者で2018年12月に合意した後、具体的な検討を進めてきました。

今後、設計業者、施工業者の選定を経て、2022年度に着工、2025年度に完成する予定で、2026年度の運用開始を目指します。渋谷の新しい放送センターと一体として、効率的・効果的に、NHKの番組制作体制を構築していきます。

○施設の概要

- ・所在地 川口市上青木3丁目6番ほか
(さいたま新産業拠点SKIPシティB街区)
- ・敷地面積 約22,000 m²
- ・延床面積 約30,500 m²
- ・階数 地上4階・地下1階(予定)
- ・完成年度 2025年度(予定)
- ・想定建設費 建物:約214億円(建物、電源、設計・監理料含む)
放送設備:約92億円
- ・用地取得 土地交換(等価交換の予定)

○これまでの経緯と土地交換

渋谷の放送センター建替にあたって、代替スタジオなどの施設を確保することがNHKの事業継続上の喫緊の課題となっていたことに加え、放送機能の地域への展開にも期待が寄せられていました。

あわせて、NHKのラジオ放送所の跡地である、埼玉県川口市のSKIPシティにある未利用地の活用についても課題となっており、埼玉県や川口市から要望も寄せられていました。

2018年12月、NHKは、埼玉県および川口市と、それぞれがSKIPシティに所有する土地の交換を行うことなどで合意しました。

埼玉県と川口市が所有するB街区の土地(施設予定地:約22,000 m²)と、NHKが所有するC街区の土地(約24,000 m²)を2022年度(着工前)に交換する予定です。

○施設の建設予定地 さいたま新産業拠点SKIPシティB街区

※予定地は図の点線で囲んだ部分（C街区との土地交換で取得）



※参考) さいたま新産業拠点SKIPシティの概要

埼玉県と川口市が、NHKラジオ放送所の跡地を取得し、映像産業の導入や集積を目指している。川口市のほぼ中央に位置し、埼玉高速鉄道の鳩ヶ谷駅から約1.4キロ、NHK放送センターのある東京・渋谷から車で1時間ほどの場所にある。

整備が進んでいるA街区のほか、B街区、C街区、D街区の4つのエリアに分かれている。

A街区 NHKアーカイブス、県の産業技術施設、映像関連施設等が開設。

B街区 埼玉県と川口市が所有。映像産業等の集積を計画しているが未活用。

C街区 NHKが所有。大半を川口市に貸与し、地域のスポーツ広場に活用。

D街区 NHKが所有。(株)放送衛星システムの衛星管制施設など。